

みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、
自由に意見を語り合う広場です。



ひとこと

春はすぐそこまで
花たちに誘われて

寒い日もありますが、わが家の小さな庭に先月から福寿草のかわいらしい花が咲き始めました。そこまで春が来ていますね。



PN チツクタク

寒かった冬が終わり、春の暖かさを感じるようになりました。庭のチューリップの球根から芽が出始めていました。「早く花が咲かないかなあ」と楽しみにしています。



PN デブネコ

広報おうら4月号が発行されるころ、平成最後の桜は満開になっていることでしょう。今年は災害などが起こらないことを祈ります。



中村安子さん(明野・34区)



PN・RIO
春が来たことを喜ぶステンドグラスのようなチューリップ

頑張る姿からチカラ
私も頑張らなげや

川嶋敏子さん(開拓・32区)
広報おうら、毎月読んでいます。広報紙からは、子どもからお年寄りまでいろいろな活動が伝わってきます。私も頑張らなくては...と思いました。

小学校卒業式のその日
最後の通学班に見えた

PN 統一選挙の統一ってなに？
卒業する6年生がシャキッと歩く姿を見て、うるうるしている私。そのすぐ後ろを歩く1年生のわが娘。ランドセルがもうあんなに小さく見えるようになって...うるうる。

イチロー選手引退
憧れた思い出

PN 513151
イチロー選手に憧れてイチロー選手モデルのバットやグローブを買ってもらった少年野球時代。左打ちの練習もしたなあ。でも、試合では右のバットボックスに立っちゃって、ホームランなんか打っちゃって。



植村 裕美さん・拓真くん(2歳2か月)
(十三坊塚・6区)

3歳上の「にい」が大好きな拓真。とても仲良しな兄弟です。にいにがすることは何でもまねしたい年頃で、高いところからジャンプしたり、一緒にリンゴを丸かじりしたり……。まねをする中で成長を感じることもしばしば。最近では、スワンジャーを見に行ったとき、にいと一緒にダンスを踊っていたことにびっくり。これからも、拓真の名前のように、たくましく成長することを願います。

DREAM 夢

■看護学校に通う1年生
中学2年生のときに「看護師になる！」と決意。学校の仲間と切磋琢磨、協力し合いながら授業や課題をこなしています。同じ志を抱く仲間同士だから、すごく頼れるし、刺激になります。

■どんな看護師に??
「患者さんだけでなく、家族や周りの人の心にきちんと寄り添うことができる看護師になりたい」と考えています。いずれ実習に臨みますが、今は基礎知識を身に付けるために勉強！勉強！

■リフレッシュするって大事じゃないですか！
挽きたてのコーヒー豆の香ばしい香りが漂う居心地の良い空間で、温かいコーヒーを…。お供に甘いスイーツを添えて、読書なんかを試してみたり。……あー、想像しただけで幸せな気分になります(笑)。そんなゆったりと流れる時間の中でリフレッシュして、また勉強！勉強！って頑張るんです。私、絶対に看護師になりたいんです。

平井 萌生さん 19歳
Hirai Mei (大谷端宿赤東・31区)



俳句 文芸

雨の後白梅楚々と際立ちぬ
芽吹き山ざらば平成日々新た
賑やかに庭蘇る初芽時
八十路にも生きる欲あり木の芽ふく
釣り人をなてる芽吹の柳かな
朽ちた針豆腐に刺して針供養
ふる里を胸に住まわせ木々芽吹く
三月やなにやら嬉し生まれ月

曾我 公子 ほどほどと言うを忘れて耕せり
長谷川紫樹 目を奪う寄木細工の内裏難
上原 弘子 あの音は春の足音小雨降る
青山 房江 城跡に座して眼下に春を見る
岡田 尚美 春寒や身支度今朝も大仕事
大野 智男 平家里樹間にうるむ春の月
金子 睦子 予期もせぬ別れ再会春の風
小谷野寿子

短歌

粉雪をかぶり顔出す路のとう日本画に吾が故郷徳ぶ
上州の雲は如月談談にお茶の香と琴の音冴えて
菜の花にいただける桜遠く見え食べる手休め行列に入る
日曜の子ども公園誰も居ぬ風と戯むる鞆鞆四つ
気温差の変化激しきこの時期に今日は静かな暖かき春
忙しなく過ぎ去る日々を戸感いつ一日一笑老いと二人で

斎藤真紀子 宮尾静子 中紫貴実子 石橋弥代江 金子典子 中谷和子 大塚初代

沼田とし子 遠藤 博道 山形 房江 寿命 秀次 小林 一男 持田 静江

KOHO 広報クイズ

問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

【今月の問題】

第1問 「ハルスワン」に「ワン」をどうする
A. x B. ÷
C. + (ヒント2~7ページ)

第2問 広報紙に掲載できなかった写真が見られる
A. フォット もっと B. フォト もっと
C. 写真はおうら (ヒント15ページ)

応募方法 はがきに、答え(例:第1問-A)・住所・行政区・名前・年齢・ひとことを書いて郵送

あて先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締切 4月16日(当日の消印有効)
※当選者は広報おうら5月号で発表します。

【3月号の当選者】(応募数24通、全問正解24通)
※敬称略 原島一雄(6区) 筑井みゆき(6区)
出井利行(8区) 長沢恵子(10区)
関口伸一郎(13区) 中村みつ江(16区)
大手敬子(16区) 飯田茜(24区)
本間美知子(34区) 斉藤敬明(町外)



まちかど 情報板

イベント
コール・オーラ・ニル・ダンス合奏団
ジョイント・コンサート
邑の森ホールに響く、混声合唱と弦楽合奏の名曲をお楽しみください。
日時 4月21日(日)午後2時開演
会場 中央公民館「邑の森ホール」
プログラム
混声合唱 早春賦、花、他
弦楽合奏 ヴィヴァルディ四季より「春」、他
合同演奏 ヘンデル「ラルゴ」、他
入場料 無料
問合せ コール・オーラ(奥田)☎88-12086

家庭倫理の会「子育てセミナー」

テーマ	情報に流されない	自分時間の作り方、すごし方	夏休みの過ごし方~大事なポイント~
期日	5月10日(金)	6月7日(金)	7月5日(金)
時間	午前10時30分~正午		
会場	長柄公民館	長柄公民館	長柄公民館
講師	(一社)倫理研究所 生涯局講師 諸江多喜子		
申込締切	5月7日(日)	6月4日(日)	7月2日(日)
申込・問合せ先	しおだ☎090-3229-5908、しまだ☎080-6727-2979		

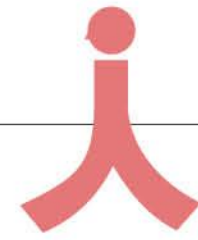
家庭倫理の会「子育てセミナー」
▼対象 小学生までのお子さんの子育てをしている保護者
▼参加費 200円(テキスト、お菓子代)
▼申込・問合せ先 家庭倫理の会館林市しおだ、しまだ

投稿募集
①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句 ⑤告知コーナー (イベント案内やメンバー募集など)
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

●あて先 〒370-0692 (住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係 ☎47-5007 ☎89-0136 ✉koho@swan.town.ora.gunma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面

H U M A N N O W



がんばってます

No.349



私が行う刺しゅうは「戸塚刺しゅう」と呼ばれ、ヨーロッパの刺しゅうをもとにさまざまな手法やステッチを取り入れ、豊かな表現を楽しむもの。『地刺し』という、布目を数えながら、ステッチを組み合わせて模様を作る方法が代表的です。

この刺しゅうに出合ったのは約40年前のこと。友達から誘われたのがきっかけでした。

それまで何をやっても長続きしなかった私。ましてや絵を描くのは苦手で器用でなく、センスもないので、刺しゅうも長くは続かないと思っていました。けれど、刺しゅうの魅力に少しずつ引き込まれていきました。

刺しゅうは色とりどりの糸を使い、一針一針布の上に描いていく絵画。キャンパスが布なので、紙とは違い失敗しても何度でもやり直しができます。ここが一番の魅力だと感じています。だから、絵を描くのが苦手でも続けることができましたのだと思います。

また、刺しゅうは手軽で、道具は針と糸、布、刺しゅう枠だけ。空いた時間に気軽に楽しめることも魅力です。私にとって刺しゅうをやっている時間はとても幸せ。何度も失敗を繰り返して、やり直して作品を作り上げていく過程がとても魅力的です。

この魅力をたくさんの人に伝えようと、現在は中央公民館のサークル『野ばらの会』や自宅などで、刺しゅうの楽しさを伝えていきます。



「完成の達成感より、一針一針縫っている時間が楽しい」と話す田中さん

布の上に描く絵画
色とりどりの糸を使って



田中 節子さん
(新中野・33区)

たなか・せつこ●1946年生まれ。約30年前に戸塚刺しゅう講師の免状を取得。現在も東京の教室に月一回通い、自身の技術を磨き続けている。公民館主催の「初めての刺しゅう教室」で講師を務め、現在は「野ばらの会」の講師として活動している。



私たちの仲間たち No.368

● 手づくりの会 “虹” ●

活動日 毎月第2・4水曜日
時 間 午前10時～午後4時
場 所 中央公民館
問 合 先 中央公民館 ☎88-1177

手づくりの会“虹”は、手芸好きな仲間7年前に結成したサークル。5人のメンバーで楽しく活動しています。活動は、サークル全体で何を作るかは決めずに、それぞれが作りたいものを作る、自由なスタイル。メンバーがお互いにアドバイスをしながら、楽しく作品作りをしています。作品はバッグや小物入れ、お財布などの普段使いができるものが中心。機能性にこだわり、ポケットの位置や素材などを工夫しています。そして、作品の点数が増えてくると、中央公民館まつりなどで販売しています。おかげさまで、去年は全ての作品が旅立ちました。次の販売は気長にお待ちください。これからも作品作りで、生きがいづくりをしながら、楽しく活動を続けていきたいです。



FRIENDS